



TOKYO SUPER ECOTOWN

スーパーエコタウン事業の概要

 東京都

スーパーエコタウン事業とは？

東京都は、首都圏の廃棄物問題の解決と環境産業の立地を促進し、循環型社会への変革を推進することを目的に、国の都市再生プロジェクトの一環として、東京臨海部において、都有地を活用した廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めてきました。

これまでに、中央防波堤内側地区には、PCB 廃棄物処理施設及びガス化溶融等発電施設が稼働し、また城南島地区には、建設混合廃棄物リサイクル施設、廃情報機器類等リサイクル施設、食品廃棄物リサイクル施設及びがれき類・泥土リサイクル施設が稼働しました。

都は、都内処理率の向上と最終処分量の削減を推進し、廃棄物問題の解決を促進するため、先進的で信頼性の高い廃棄物処理・リサイクル施設の整備を進めます。

スーパーエコタウン事業の基本的スキーム

- 都は、施設の立地に必要な都有地を確保し、整備する施設及び事業者の決定を行うとともに、計画全体の推進及び調整に当たります。
- PCB 廃棄物の処理事業は、PCB 特別措置法や中間貯蔵・環境安全事業株式会社法等に基づいて、中間貯蔵・環境安全事業株式会社が、PCB 廃棄物の広域的な処理を行う施設を整備・運営します。
- 公募により選定された事業者は、都有地を取得し、施設の整備・運営を自ら行います。
 - ・事業者の責任で、資金調達を行い、事業採算性を確保します。
 - ・施設の整備、運営に必要な都市計画決定や施設許可取得などの法定手続も自ら実施します。

スーパーエコタウン事業の経緯

- 平成 13 年 3 月 都知事が首都圏スーパーエコタウン構想を含む「首都圏再生緊急 5 ヶ年 10 兆円プロジェクト」を国に提言
5 月 国が、内閣総理大臣を本部長とする「都市再生本部」を設置
7 月 都市再生本部が、「ゴミゼロ協議会」を設置し、東京圏における廃棄物処理・リサイクル施設の整備などの検討を開始
- 平成 14 年 4 月 都が、「スーパーエコタウン事業公募要項」を発表し、募集を開始
ゴミゼロ協議会が、施設整備のあり方などを記載した最終取りまとめを公表
7 月 スーパーエコタウン事業者を決定し、公表
- 平成 18 年 5 月 都が、「スーパーエコタウン事業公募要項」を発表し、募集を開始
7 月 スーパーエコタウン事業者を決定し、公表
- 平成 25 年 9 月 都が「スーパーエコタウン事業公募要項」を発表し、募集を開始
12 月 スーパーエコタウン事業者を決定し、公表

環境への貢献

- 廃棄物が大量に発生する都心近くに立地していることによる近距離輸送及びスーパーエコタウン内での相互補完による資源循環により、輸送と工程からの CO₂ 削減に貢献しています。
- 高いリサイクル率により、逼迫している最終処分場の延命や天然資源の保全に貢献しています。

スーパーエコタウン施設のご紹介

大田区城南島

建設混合廃棄物 リサイクル施設	建設混合廃棄物 リサイクル施設
	
高俊興業株式会社 平成 16 年 12 月稼働	株式会社リサイクル・ピア 平成 17 年 4 月稼働

中央防波堤内側埋立地

PCB 廃棄物 処理施設	ガス化溶融等 発電施設
	
中間貯蔵・環境安全事業株式会社 平成 17 年 11 月稼働	東京臨海リサイクルパワー株式会社 平成 18 年 8 月稼働

廃情報機器類等 リサイクル施設	廃情報機器類等 リサイクル施設	食品廃棄物 飼料化施設	食品廃棄物 バイオガス発電施設	がれき類・泥土 リサイクル施設
				
株式会社フューチャー・エコロジー 平成 16 年 4 月稼働	株式会社リーテム 平成 17 年 7 月稼働	株式会社アルフォ 平成 18 年 4 月稼働	バイオエナジー株式会社 平成 18 年 4 月稼働	成友興業株式会社 平成 21 年 7 月稼働

PCB 廃棄物処理施設

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

東京 PCB 処理施設
江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地）
TEL 03-3599-6023
http://www.jesconet.co.jp/ FAX 03-3599-6077



▲ PCB 分解反応装置

事業概要・特徴

中間貯蔵・環境安全事業株式会社は、国の指導のもと、全国 5 カ所（北九州市、大阪市、豊田市、東京都、室蘭市）において、PCB 廃棄物の広域的な処理を推進しています。

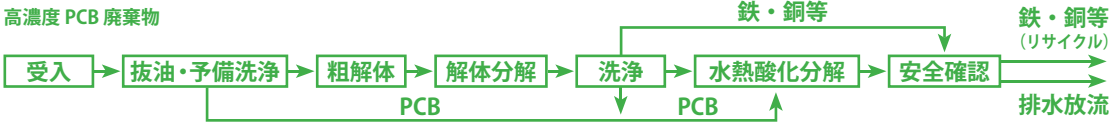
本施設は、一都三県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の区域内にある PCB 廃棄物（高圧トランス、高圧コンデンサ等）を化学処理し、無害化する目的で設立され、平成 17 年 11 月から処理を開始しました。

本施設では、高濃度 PCB を水熱酸化分解法により処理します。

事業内容

処理対象廃棄物	処理量 (PCB 分解量)	廃棄物の排出場所
高濃度 PCB 廃棄物	2t / 日	東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県内の区域内にある PCB 廃棄物 (高圧トランス・高圧コンデンサ等)

処理フロー



ガス化溶融等発電施設

東京臨海リサイクルパワー株式会社

スーパーエコプラント
江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地） TEL 03-6327-3190
http://www.tgn.or.jp/tokyorp/ FAX 03-5500-1088



▲発電施設

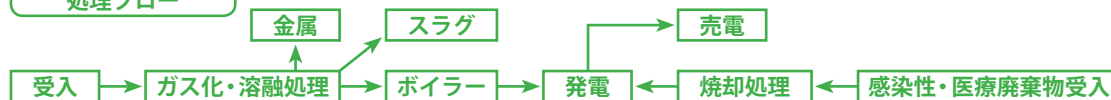
事業概要・特徴

産業廃棄物については、廃プラスチック類や建設廃棄物を破碎・分別処理した後の可燃物などを受入れ、ガス化溶融炉により、灰は高熱でスラグ化して建設資材として、鉄や銅・アルミなどの金属は有価物としてマテリアルリサイクルしています。また、医療機関から排出される感染性医療廃棄物は、専用の焼却炉により確実に焼却処理しています。それぞれの廃熱はボイラで熱回収して23,000kWの発電（サーマルリサイクル）を行っています。本施設は、国内最大級の規模であり、マテリアルリサイクルとサーマルリサイクルを併せることで100%のリサイクルを目指しています。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	廃プラスチック類他	550t/日	各種事業所・中間処理施設
	感染性医療廃棄物	100t/日	医療機関（病院・医院等）
リサイクル製品及びその用途	電力	23,000kW	一部を工場内で使用する他、電力会社に売電
	スラグ	約50t/日	建設用資材として売却

処理フロー



がれき類・泥土リサイクル施設

成友興業株式会社

城南島工場 大田区城南島 3-3-3 TEL 03-3799-7000
http://www.seiyukogyo.co.jp/ FAX 03-3799-7008



▲加熱すりもみライン

事業概要・特徴

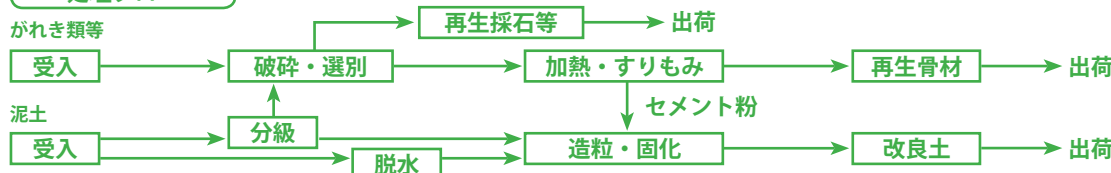
建設工事現場から発生するがれき類・泥土を受入れ、がれき類は再生路盤材の製造だけでなく、全国で初めて事業化する加熱すりもみ方式により、コンクリート用の再生骨材H（JIS A 5021 取得）を製造します。

泥土は、脱水・造粒固化により、高品質の改良土を製造し、加熱すりもみ工程で発生するセメント粉を泥土を混練するための固化材として利用することにより、100%のリサイクルを目指します。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	がれき類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1300t/日	土木、建設解体工事等
	泥土（汚泥）	700t/日	
リサイクル製品及びその用途	再生骨材H（JIS A 5021）	約537t/日	コンクリート用原材料として再利用
	再生砂、改良土、再生砕石	約1274t/日	路盤材等として再利用

処理フロー



高俊興業株式会社

東京臨海エコ・プラント 大田区城南島 3-2-15 TEL 03-5755-8011
<http://www.takatoshi.co.jp/> FAX 03-5755-8010

事業概要・特徴

再資源化が困難な建設系混合廃棄物などを受入れ、最先端技術を駆使した高精度選別再資源化システムにより、90%以上の再資源化率を達成しています。当施設では、“廃棄物は製品である”を基本姿勢とし、貴重な廃棄物資源を限りなく再資源化することを目指して、更なるリサイクル率の向上に向け、「ヒト」と「機械」の調和を図りながら、選別技術の向上を目指しています。また、周辺環境に配慮して高さ10mの防風壁を設置すると共に、施設内で働く人の健康に配慮した高性能集塵機を整備するなど、環境に留意した運営を行っています。

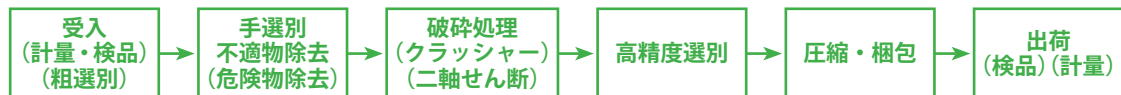


▲機械処理工程前の徹底した前処理作業

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	産業廃棄物 (建設系混合廃棄物/事業系産業廃棄物)	928t/日	建物新築・改修・解体工事他
	一般廃棄物 (廃プラスチック類/木くず)		転居廃棄物・木くず他
リサイクル製品及びその用途	再生砂	約80t/日	路盤材、セメント原材料として再利用
	その他の品目	約783t/日	セメント原燃料、高炉還元剤、製品原料として再利用

処理フロー



株式会社リサイクル・ピア

東京エコタウン工場 大田区城南島 3-4-3 TEL 03-5755-8811
<http://www.r-p.co.jp/> FAX 03-5755-8815

事業概要・特徴

「建設系混合廃棄物」を受入れ、94%資源化しています。この高い再資源化率を達成するため、3つの先進技術を導入しました。このため、建設系産業廃棄物処理施設として民間初の国庫補助施設に認定されました。

- ①「ロールスクリーンユニット」を導入し、粗選別作業の機械化を実現
- ②「磨砕洗浄ユニット(水比重差選別)」を導入し、土砂類の高度利用を実現
- ③粉塵等を製鉄副資材(エコ・フォーム)として原料化することを実現

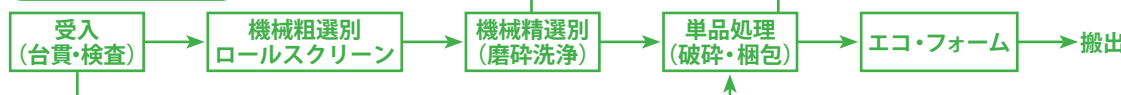


▲機械化した廃棄物選別ライン

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	961t/日	建物の新築・改修・解体工事、中間処理残渣、積替保管廃棄物他
	事業系産業廃棄物		生産・物流過程で発生する産業廃棄物、在庫整理に伴う廃棄物他
リサイクル製品及びその用途	再生砂	約300t/日	路盤材、比重調整材他
	エコ・フォーム	約10t/日	製鉄所において利用

処理フロー



株式会社リーテム

東京工場 大田区城南島 3-2-9
<http://www.re-tem.com/>

TEL 03-3790-2100
 FAX 03-3799-8500



▲シュレッダー前の重機作業

事業概要・特徴

使用済みの鉄系複合材及び電気電子機器類・情報通信機器類等を受入れています。製品は分解され、選別された後、構成する複合物が何かを的確に把握した上で、それらに応じた適切な処理を行い、高純度な原料回収を行っています。破碎処理された処理品は、すべて素材産業の原料として出荷することが可能なため、ゼロ・エミッション（埋め立てゼロ）処理を実現しています。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	金属くず、廃プラスチック類、ガラスくず等	約 300t/日	製造メーカー・銀行・リース会社・事務所からの各種機械、ATM、電気電子機器類、什器類等
リサイクル製品及びその用途	鉄	約 200t/日	電炉メーカー/製鋼所へ売却
	非鉄金属	約 40t/日	非鉄製錬所等へ売却

処理フロー



株式会社フューチャー・エコロジー

東京事業所 大田区城南島 3-2-14
<http://www.f-eco.co.jp/>

TEL 03-3799-7153
 FAX 03-3799-0539



▲データ消去及び PC 動作確認

事業概要・特徴

中古パソコンその他の電気、電子、情報機器全般について、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）を行っています。特に情報関連機器については、万全なセキュリティの中でデータの消去、又は破壊を行い、安心して使用できる情報関連機器のリユース、リサイクルを実現しています。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	廃家電、廃OA機器及び電子部品等	36t/日	一般事業者・リース会社・その他
リユース製品及びその用途	電気・電子・情報機器類全般	12t/日	データ消去又は破壊後、補修等を行いリユース
リサイクル製品及びその用途	電気・電子・情報機器全般	24t/日	データ破壊等を行いリサイクル

処理フロー

1 リユース



2 リサイクル



食品廃棄物飼料化施設

株式会社アルフォ

城南島飼料化センター 大田区城南島 3-3-2
<http://www.alfoco.jp/>

TEL 03-5755-8841
 FAX 03-5755-8842



▲製造された配合飼料原料

事業概要・特徴

食品廃棄物（生ごみ）を受入れ、乾燥処理することにより、養鶏、養豚用の配合飼料の原料を製造しています。先進的技術である「油温減圧乾燥装置」は、“てんぷらを揚げて水分を蒸発させる”原理を利用して飼料を製造する技術です。一工程（10トン）約90分という処理時間で飼料を製造することができ、他の堆肥化、飼料化に比べ、短時間で大量処理することが可能です。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	事業系一般廃棄物（生ごみ）	140t/日	ホテル、レストラン、スーパー等の調理残渣や食べ残し（生ごみ）
	産業廃棄物（動植物性残渣）		食品の製造・加工や調理過程で発生する動植物性残渣
リサイクル製品及びその用途	配合飼料原料	約25t/日	養鶏、養豚用の配合飼料原料

処理フロー



食品廃棄物バイオガス発電施設

バイオエナジー株式会社

城南島食品リサイクル施設 大田区城南島 3-4-4
<http://www.bio-energy.co.jp/>

TEL 03-5492-1461
 FAX 03-5492-1467



▲都市ガス製造供給設備

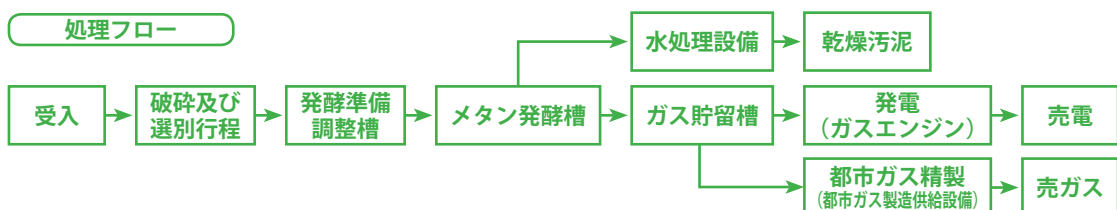
事業概要・特徴

従来分別が難しいために、リサイクルされず焼却処理されていた食品廃棄物を受入れ、メタン発酵システムでバイオガスを発生させ、それをガスエンジンで使用することにより、一日でおよそ24,000kWh（約2,400世帯分の電気量に相当。）の発電を行っています。この電力は、バイオマス発電電力であることから、自然エネルギーとして評価され、グリーン電力としての認定を受けています。さらに、残りのバイオガスを精製して都市ガスとして導管に供給しています。生ごみから電気と都市ガスを作り、地球温暖化現象の歯止めにも貢献しています。CO₂の削減効果は、年間で約6,360トンにもなります。

事業内容

	品目	処理量/発生量	廃棄物の排出場所/用途
処理廃棄物の種類	事業系一般廃棄物	食品廃棄物 110t/日	食品製造・加工業やレストラン、デパート、コンビニエンスストア、ホテル、給食施設他
	産業廃棄物		
リサイクル製品及びその用途	電力	24,000kWh (2,400世帯)	東京電力(株)へ供給
	都市ガス	2,400m ³ /日 (2,000世帯)	東京ガス(株)へ供給

処理フロー



スーパーエコタウンへのアクセス



中央防波堤内側埋立地区

公共交通機関

- ・東京臨海高速鉄道/東京テレポート駅からバス 20分
- ・ゆりかもめ/テレコムセンター駅からバス 15分
- いずれも都営バス(波01)を使用し
- ①へは「中央防波堤」(下図B)下車
- ②へは「環境局中防合同庁舎前」(下図A)下車

① PCB 廃棄物処理施設	中間貯蔵・環境安全事業株式会社
② ガス化溶融等発電施設	東京臨海リサイクルパワー株式会社



城南島地区

公共交通機関

- ・JR京浜東北線/大森駅からバス約30分
- ・京浜急行/平和島駅からバス約25分
- ・東京モノレール/流通センター駅からバス約20分
- いずれも京急バス(森32)城南島循環を使用し
- 「城南島四丁目」(右図C)または
- 「動物愛護センター前」(右図D)下車

① 建設混合廃棄物リサイクル施設	高俊興業株式会社
② 建設混合廃棄物リサイクル施設	株式会社リサイクル・ピア
③ 廃情報機器類等リサイクル施設	株式会社リーテム
④ 廃情報機器類等リサイクル施設	株式会社フューチャー・エコロジー
⑤ 食品廃棄物飼料化施設	株式会社アルフォ
⑥ 食品廃棄物バイオガス発電施設	バイオエナジー株式会社
⑦ がれき類・泥土リサイクル施設	成友興業株式会社



東京都環境局資源循環推進部計画課 スーパーエコタウン担当

新宿区西新宿二丁目8番1号 第二本庁舎9階
電話 03-5388-3593(直通) 都庁内線 42-825
平成26年度 登録番号(58) 環境資料第26039号